

社会福祉法人 園樹会  
障害者支援施設 向徳舎  
障害福祉サービス事業所  
TEL: 055-223-2500 FAX: 055-223-2501  
e-mail: koutokusya@fujisanmail.com

障害福祉サービス事業所 虹の色  
TEL: 055-223-2510 FAX: 055-223-2509  
e-mail: nijinoiro@fujisanmail.com

相談支援事業所 With(ウイズ)  
TEL: 055-223-2503 FAX: 055-223-2504  
e-mail: soudan.with@fujisanmail.com

共同生活援助 風の音  
TEL: 055-223-2507 FAX: 055-223-2508  
e-mail: kazenone@fujisanmail.com

発行者 理事長 塩澤一夫 甲府市向町277

## 事務長就任のご挨拶

橋田事務長の退任に伴い、令和4年4月1日より当社会福祉法人の事務長を拝命いたしました天野と申します。よろしくお願いいたします。これまでの私の人生で障害者支援などの所謂「社会福祉」に携わる機会は皆無に等しく、この3か月間は毎日が驚きと感動の連続で、刺激的な日常を経験させていただいております。私は、34年間勤めた銀行を退職するにあたり、第二の人生は金融とは全く関係しない仕事に従事したいという思いもありましたが、まさか自分のような人間が社会福祉法人に身を置くことになるとは微塵も思いませんでした。そのような中、全くの素人である私を温かく迎え入れていただいた職員の皆様には改めて感謝しております。



事務長 天野 隆二

サラリーマン人生の集大成として、これまでの経験を活かし、当法人の経営理念である「和」・「愛」・「汗」を体現し、利用者の皆様やここで働く職員の皆様のバックアップとして務めていく所存です。また、奇しくも当法人の創成期を支えた宿澤様、日向様、そして私の前任者である橋田様は銀行での大先輩にあたります。諸先輩が築いた礎をより強固なものにして、当法人の発展に寄与するよう微力ではありますが誠心誠意務めますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

## 「風の音」竣工式

今年度4月から開所した「風の音」の竣工式を令和4年3月26日に行いました。当日は、関係者、法人役員が参列し、「風の音」の完成を祝うとともに今後の繁栄を祈願しました。また、建物の設計をお願いした有限会社新谷設計事務所様、施工を請け負っていただいた宏和建设株式会社様へ感謝状を贈呈させていただき、無事に竣工式を終了することができました。式に参列していただいた関係者の皆様、お忙しい中ありがとうございました。さて、「風の音」が開所となって3か月が経ちました。開所当日はバタバタしていた生活も、今ではすっかり落ち着いてきています。まだまだ始まったばかりですが、入居者様が安心して生活できるように努めていきます。



## 新職員紹介



渡邊 美和子  
令和4年3月1日採用  
向徳舎女性棟配属



齋藤 夢生  
令和4年4月1日採用  
向徳舎女性棟配属



半場 悠大  
令和4年4月1日採用  
向徳舎男性棟配属

Q. 福祉職歴はありますか？  
A. 初めてです。

Q. これからの意気込みを  
A. 利用者様一人ひとりに寄り添い支援できるよう頑張ります。

Q. 新社会人としての意気込みは？  
A. 仕事を早く覚えて、利用者様に寄り添い、支援できるよう努力していきます。

Q. 新社会人としての意気込みは？  
A. 新社会人として、先輩や利用者様から様々なことを学び、一人前になれるよう頑張ります。



市村 智子  
令和4年3月1日採用  
虹の色配属



堀内 ひとみ  
令和4年4月1日採用  
向徳舎女性棟配属

Q. 福祉職歴はありますか？  
A. 障害者の方への就労支援で働いていました。

Q. これからの意気込みを  
A. 利用者様に寄り添い、信頼される支援員になれるよう、日々頑張ります。

Q. 福祉職歴はありますか？  
A. 以前、障害者施設で勤めていました。

Q. これからの意気込みを  
A. 仕事に慣れ、利用者さんに寄り添った支援をしていきます。

よろしくお願いいたします



### ◆苦情・要望について

受付期間：令和4年3月1日～令和4年5月31日

1 苦情受付件数 1件 要望受付件数 0

2 苦情の分類

(1) 一般苦情

①利用者様の入院カンファレンス時、職員の受け答えに付き添いのご家族を不快にさせる発言があった。また、退院後の相談支援員の対応を不快と感じた。

3 対応・結果

(1) ①ご家族に不快な思いをさせたことを謝罪し、相談支援事業所としても、適切な対応をすることを約束し、納得していただく。

## ニヤリ・ほっと

○ゴミ捨てを自ら手伝ってくれた。(M・Kさん)

○電気を消したい様子が見られたが、スケジュールを提示することで、時間を守ってソファで待つことができた。(A・Mさん)

○自分の部屋の掃除の後、他の人の部屋も掃除してくれた。(U・Mさん)

○職員との会話を楽しんだ後、「話を聞いてくれてありがとう。」とお礼を言ってくれた。(M・Tさん)

梅雨が明け、厳しい暑さを迎える季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。国内での新型コロナウイルス感染症が収まらず、園樹会でも感染防止対策を継続していかなくてはなりません。笑顔で生活していただきたいという気持ちで日々の業務に努めてまいります。

新型コロナウイルスが発生して外出の制限をやむをえない生活が始まり、どうしたら利用者に楽しんでもらえるのだろうかという試行錯誤の日々です。イベント時は代替行事として食べ物を購入し実際に施設内で買い物の経験を行ったり、キッチンカー等の利用をしてみたい利用者様がこのような期間でも満足できるように支援を心掛けています。

私が思うこととしては、以前まで当たり前に生活を送っていたことに感謝できるようになったことや、感染防止期間だからこそ出来るスキルアップや個人を見直す時間がつくれていると感じます。収束することが叶った時はパワーアップした園樹会の様子を伝えられるように全員で日々精進していきたいと思っております。皆様もお体に気をつけてお過ごしください。

広報委員  
広澤 葉子・鈴木 将吾  
河野 真吾・栗田 大輝  
小野 由貴・齋藤 夢生  
中野 靖裕・酒井 幸生  
小泉 幸生

編集後記





## 春の日帰り旅行代替行事：キッチンカーイベント

向徳舎利用者が毎年楽しみにしている「春の日帰り旅行」ですが、昨年に引き続き代替行事の開催となりました。山梨県内の新型コロナウイルス感染症の感染者数が、100人を下回らない状況が続く中、「春の日帰り旅行」中止という苦渋の決断となりましたが、利用者様に楽しい一日を過ごしていただくよう行事担当者が「キッチンカーイベント」を企画しました。



行事当日の5月19日は、朝からきれいな青空が広がり、カラフルな4台のキッチンカーが準備をはじめると、利用者の皆様もいつになくソワソワした様子で、準備の様子を眺め、職員も心なしかうきうきとした様子うかがえました。事前に、どういったキッチンカーが来るのかはわかっていたのですが、目の前になるとワクワク感が一段と高まります。



「虹の色」の利用者様もキッチンカーで昼食を購入し、いつもと違う昼食に興味気味の方もいらっしゃいました。「向徳舎」の利用者様も、好きなキッチンカーの前に並び、炭火で焼く焼き鳥の香りを感じたり、クレープの生地をきれいに丸く焼き、その生地を生クリームやフルーツを並べたいりする様子をみることの楽しさに、自然と笑顔が広がります。



カレーライス、きなこ揚げパン、焼き鳥、かき氷、焼きそば、たこ焼き、クレープなど、いろいろなものを食べることができ、笑顔いっぱいの満足できる1日でした。利用者の皆様からも「おいしかった!」との声が多く聞かれ、大人気だったクレープを「また食べたい。」とリクエストする声もありました。



キッチンカーのスタッフの方からも、「こういう機会を作っていて、とてもよかった。」とお話を聞くことができました。今後もこのような機会を作って、利用者の皆様に様々な体験をしていただきたいと思います。

打ち合わせや当日の段取りなど、関係者の方々には大変お世話になり、行事担当職員も初めてのことで大変でしたが、大成功となったイベントでした。



## RAINBOW HEART

～虹の色から～



花が咲き、過ごしやすかった春の季節が終わり、少しずつ「夏」本番が近づいてきています。散歩や屋外活動をするには心地よい季節で、毎日利用者様からはほれるような笑顔が、たくさん見られています。

虹の色では、春先に園芸活動を開始しました。ミニトマトやピーマン、ナスなどの苗を植えました。興味を示して土に触ったり、葉っぱの匂いを嗅いでいる方もいれば、毎朝の水やりを欠かさずに行ってくれる利用者様もいます。日々大きくなる苗を見て、夏の収穫を早くから楽しみにしている支援員もいたりして・・・(笑)。愛情たっぷりの美味しい立派な野菜が育てることをみんな期待をしています。

また、利用者様のもつ能力の発揮、日常生活動作の獲得を目的として、洗濯物たたみやアイロンかけ、掃除機かけ等の実践をしています。毎日繰り返し行うことで、身につけていくことを目指しています。

日中活動で古新聞を使った着火剤作りを行っています。その着火剤をこの五月より道の駅とよみに置かせていただいています。利用者様達が一生懸命に作ったものですので、ぜひ道の駅に立ち寄った際にはご覧ください!

## グループホーム「風の音通信」

「風の音」開所しました

令和四年四月一日に共同生活援助事業所グループホーム「風の音」が開所致しました。

今回十名の方が、入所支援から共同生活援助に移行することとなりました。新しい環境に慣れて、安心して生活していただくにはどのような支援を行うのが、ご入居者様にとって一番良いのか、現在も模索している最中ではございますが、一生懸命お手伝いさせていただきますので、今後ともよろしくお願いたします。

グループホーム「風の音」 主任 上野史正



- 職員紹介
- 上段右から
  - ・田中課長
  - ・早川世話人
  - ・北城世話人
  - 下段右から
  - ・若林副主任
  - ・佐野支援員
  - ・上野主任
  - ・松村支援員